

平和宣言で引用した被爆体験記を書かれた方のコメント等

1 当時 5 歳だった女性

(むらやま 村山 きみえ 季美枝さん 79 歳 東京都文京区在住)

- ◎ 被爆者が少なくなる中で、被爆の実態、平和への思いなど、実際に経験した者でないと伝えられないことを後の世代の人たちに伝えなければならないと強く思い、被爆体験記を執筆しました。また、そうした伝え方の一つとして、原爆や平和についての短歌を詠みました。
- ◎ 核兵器の使用は二度とあってはならないことで、核抑止力という考え方はありえないと思います。理想論かもしれませんが、人間である以上は、様々な問題を暴力ではなく、対話によって解決してほしいと思います。

2 当時 15 歳だった女性

(あきもと 穂本 てるえ 昭江さん 89 歳 広島市中区在住)

- ◎ 若い人たちの中で、原爆投下が遠い昔のことになりつつあります。また、国同士が対立している最近の世界の動向を心配しています。
- ◎ こうした中で、一人一人が平和を願う思いを持つことが大事だと思います。一人の力は弱くても、多くの人々の真心からの思いが重なれば、平和な世界につながっていくと思います。

※ 同じく体験記を引用した「惨状を 18 歳で体験した男性」であるうえまつ 植松 はじめ 基さんは、既にお亡くなりになられています。